

地本委員会全体質疑

●春闘について。会社が黒字基調である以上、公正な成果配分を求めるのは労働組合として当然であり、満額回答に向け、大阪支部出身の榎野貴金対策部長をはじめとする中央闘争委員会の奮闘を期待する。

●和委員(奈良支部) ●ジャパンレールバスの取り扱いについて。3月25日から奈良駅においても発売されるが、窓口業務の業務量増やそれに對しての勉強会、お客様案内等の事前準備が何もない状態である。看板等自分たちで作成するのは人手や時間が割かれるので、会社で準備を進めていただくよう話をしてもらいたい。

●政治について。4月7日は統一地方選挙の投票日が行われる。2月24日には田尻議員の事務所開きに多くの皆様にお越しいただき、無事に事務所開きを行うことが出来た。田尻議員を勝利させるためにも奈良市在住の親族・知人・友人の方々に声をかけようしくお願いする。

●岸部委員 ●尼崎電車区分会 ●4月16日に尼崎列車区分会の結成大会を開催する。まだまだ未熟な我々であるが、



議長に選出された土川委員

●安全について。これ以上重大労災を発生させない為にも、原因の検証、しっかりと守れるルールの周知徹底が大事である。今後安全に対して追及していかなければならない。

地本委員会西村委員長挨拶(要旨)

●自然災害対応のお礼について 昨年は大雪、地震、豪雨、台風と自然災害が相次いだ大変な1年でした。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、災害復旧やお客さまへの対応をはじめ、それぞれの立場でご苦労された組合員の皆様のご尽力、また、救援カンパやボランティア活動など助け合いの活動への積極的なご協力にも敬意を表します。

●安全の確立について 昨年9月に福知山線列車事故現場が、慰霊と鎮魂の場、そして私たちが安全を誓い続けていく場である「祈りの杜」として整備されました。事故を決して忘れず、反省と教訓を胸に刻み、安全確立を最優先課題に位置付けて運動を進めることとします。

昨年4月より「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」がスタートする中で、8月、9月に墜落、感電による協力会社社員の死亡労災が発生してしまいました。12月にも墜落による重大労災が発生しています。そして、今年に入って先月の2月には高所作業車と電柱との間に挟まれ死亡する事象が発生しています。

もう待ったなしの状況です。労使で危機感を高めて共有し対策を講じていく必要があります。西日本電気テックが「確認ですが…」を合言葉に進めてきた確認会話の浸透の取り組みを、グループ会社・労組全体に拡大し、確認し合う風土づくりの徹底を改めて要請します。

●2019春季生活闘争について JR連合中央委員会で決定した方針に基づき、JR西労組中央委員会で、「ベースアップ3千円、年間臨給5.7ヶ月」を柱とする要求を決定し交渉が行われています。

JR西日本の収入動向は、災害に伴う218億円の特別損失を計上したものの好調に推移しており、過去最高の営業収益、営業利益を確保できる見通しです。しかし、JR西日本は業績が大幅に上下せず、安定的、永続的に、鉄道を核にサービスを提供し、地域、社会を支える事業運営が求められる企業であり、自動車や電機など製造業のこの間のベア額とも乖離があります。安定雇用のうえに技術や技能、モラルを高め、意欲を持って働き続けられる環境を築くためには、生涯賃金の向上につながるべきの継続実施が大切であり、組合員への最も分かりやすいメッセージになると確信します。

●JF西労組運動の強化と民主化闘争への支援について JR西労組の組織率は約95%となり、世代交代が加速する中、組合員が参加し、信頼され、求心力の持てる組織となっているかを検証して、組織と運動の充実、強化をさらに進めていく必要があります。私たちの原点である助け合いを基礎に、仲間を寄り添い、多様な立場を認め合い、すべての組合員が意欲を持って働き続けられる職場を築かなければなりません。

最近、組織の高齢化と減少の進む他労組が、存亡を賭けてJR西労組の組合員に触手を伸ばす危険な動きが散見されます。無責任な甘言に騙されて国労や西労に加入した場合、早期に救出しなければ、反会社、反社会の活動家として組織の中心を担われるか、後から判断の誤りに気付いても職場に居づらく退職してしまうなど、人生を台無しにしてしまう可能性が非常に高いと言わざるを得ません。自殺、不祥事、ハラスメントの防止などを含め、不幸な仲間をつくらぬためにも、世話役活動、コミュニケーションの強化を要請します。

●政治参加の推進について 私たちは、税金、社会保障、ワークルールなど生活に関わる国民的課題はもとより、JR西日本グループに関わる多くの政策課題を抱えています。

政策を実現するためには、政治との関わりが重要です。そして、議会制民主主義の下で私たちの要望を政治に反映させるためには、意見を代弁する政治家を議会に送り、勢力を拡大しなければなりません。

今年には選挙イヤーであり、4月の統一自治体選挙では、京都府議選に梶原英樹候補、兵庫県議会選に栗山雅史議員、奈良県議会選に田尻たくみ議員が立候補する予定です。

私たちが思いを共有し意を体して活躍していただける仲間を議会に送り、JR西日本グループと働く者の発展につなげていかなければなりません。7月には第25回参議院議員選挙が予定され、比例区では浜野史史参議院議員と森屋隆候補を推薦し全面支援をおこないます。

現在の政局は、自民党一強に対峙すべき野党勢力が分散し政権交代の展望が見えない状況にあります。JR西労組の政治方針は、政局の動向とは距離を置き、私たちの運動に賛同し信頼できる政治家個人を支援して政策課題の解決を図るという考えです。組織、組合員と家族の利益のために政治を主体的に活用する姿勢に立って、組合員と家族の政治に対する理解と参加を深め、足元を固める取り組みへの積極的なご協力をお願いします。

そして、政治団体「交通政策をすすめる会」の加入状況はまだまだいいものではありません。各級機関の役員の方々にはご苦労をお掛けしますが、理解浸透と加入拡大への取り組みを要請します。

●組織と春闘について。最近若手の組合離れを感じる。日頃から組合の必要性を見せなければならぬ。その中で目に見えてわかるのが、労働協約改訂交渉や春季生活闘争である。賃金は最大の労働条件、黒字である以上は公正な成果配分を。



岸部委員



澤山委員



高橋委員



水野委員



吉田委員

述べさせていたのだが、今年、話をよく聞いてくれた等の声をよく聞いた。ありがとうございました。 ●安全について。「JR西日本グループ安全考動計画2022」が策定され、まもなく1年が経とうとしているが、この間に3名の仲間が亡くなった。基本動作・作業・ルールを守っていただけた事象であった。支部としても分会に対してしっかりと伝えていきたい。

●2019春闘について。今年度は西日本エリアで甚大な災害が多発し、例年以上に厳しい春闘になっていると思われるが、昼夜問わず懸命な復旧作業や、慣れない業務で苦慮した現場で、汗水をかき続けた組合員の賜物である。それに報いる為にも、公正な成果配分をよりよくお願いしたい。

新しく立ち上がる尼崎列車区分会を今まで以上に、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願ひする。

●育児休暇中の共済関係の未収金について、個人宅へ振込用紙を送るなど、少しでも負担を軽減できないか検討していただきたい。

●カンパについて。西日本豪雨、大阪北部地震の被災者へのカンパへ多くの組合員が協力してくれた。ぜひ給付完了後は協力してくれた組合員に対して報告と感謝を伝える掲示を本部・地本で作成していただきたい。

●新しい交番検査について。323系の電子化された新しい交番検査の施行をしている。技術的検証と聞いて始めたが、検証結果の出る前から要員の減少という話が出ており、ほぼ決定事項のようになっており、現場でも要員について不安が出ているのが現状である。要員の変動、また他の現場への試行交換の展開などわかる範囲で教えてほしい。

●汚物処理手当の支給拡大と人身事故車両の修繕に対する手当の新設について。汚物処理手当についてはインバウンドのお客様増加による使用増や、老朽による対応が増えているため、支給の拡大をお願いしたい。人身事故車両修繕についても、外板は清掃してもらえないが、床下はそのまま作業しないといけないので手当の新設を。

●春闘について。第3四半期決算を見ても、黒字である以上は、公正な成果配分を勝ち取っていただきたい。

●作業責任者手当について。現在見合った金額ではないので、是非とも作業責任者に見合った金額を増額していただきたい。

●電車線路停電定刻送電について。二重のルールがあることになり現場が混乱する。またパターン停電の時間が最大で10分短くなり、夜中に働く我々工務系統の10分は非常に貴重な時間である。現場で働く作業員の方々に大きなプレッシャーとなる。しっかりと議論しうえて施行していただきたい。

●健康診断について。現在健康増進センターでの女性受付時間が13時00分～13時30分

●尼崎電車区分会 ●4月16日に尼崎列車区分会の結成大会を開催する。まだまだ未熟な我々であるが、

●安全について。今後、災害時一括点検施行準則の制定や、運輸関係係車事故防止要領の改訂もされるに聞いている。是非とも、現場の組合員が守ることが出来るルールとなるようお願いします。

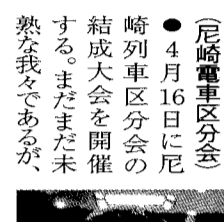
●組織の充実強化について。天王寺支部内でも継承が進み、支部執行部、分会全体でほぼJR採用組合員が中核を担っている。JR西労組の維持発展のために、今後も引き続き分会との連携、フットワーク体制を強化充実させ運動を進めてい

●電車線路停電定刻送電について。二重のルールがあることになり現場が混乱する。またパターン停電の時間が最大で10分短くなり、夜中に働く我々工務系統の10分は非常に貴重な時間である。現場で働く作業員の方々に大きなプレッシャーとなる。しっかりと議論しうえて施行していただきたい。

●安全について。今後、災害時一括点検施行準則の制定や、運輸関係係車事故防止要領の改訂もされるに聞いている。是非とも、現場の組合員が守ることが出来るルールとなるようお願いします。

●組織の充実強化について。天王寺支部内でも継承が進み、支部執行部、分会全体でほぼJR採用組合員が中核を担っている。JR西労組の維持発展のために、今後も引き続き分会との連携、フットワーク体制を強化充実させ運動を進めてい

●安全について。今後、災害時一括点検施行準則の制定や、運輸関係係車事故防止要領の改訂もされるに聞いている。是非とも、現場の組合員が守ることが出来るルールとなるようお願いします。



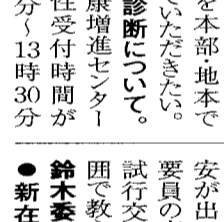
和田委員



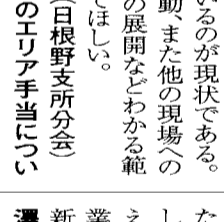
秋庭委員



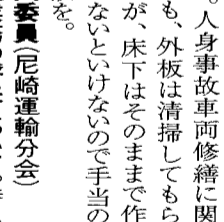
鈴木委員



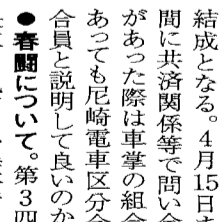
高橋委員



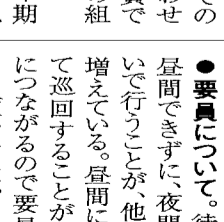
水野委員



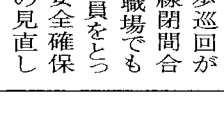
吉田委員



吉田委員



吉田委員



吉田委員